

安全データシート

ハイカプシン®粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2005/09/27 改訂日: 2024/04/01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ハイカプシン®粒剤
整理番号 : AGL10011Jb_09

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 不快害虫用殺虫剤
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

会社情報

供給者の会社名称

三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

国内ライフソリューション営業部

東京都中央区日本橋一丁目 19 番 1 号

T 03-5290-2820 - F 03-3231-1172

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性	区分 2
	生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響)	追加区分
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(免疫系, 呼吸器系, 腎臓)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1

*記載のないものは区分に該当しない、あるいは分類できない。

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険
危険有害性 (GHS JP) : 遺伝性疾患のおそれの疑い (H341)
発がんのおそれ (H350)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)
授乳中の子に害を及ぼすおそれ (H362)
臓器の障害(呼吸器系) (H370)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(免疫系、呼吸器系、腎臓) (H372)
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 (H410)

注意書き (GHS JP)

安全データシート

ハイカプシン[®]粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。(P263)
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
- 応急措置 : ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311)
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)
漏出物を回収すること。(P391)
- 保管 : 施錠して保管すること。(P405)
- 廃棄 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

他の危険有害性

- 他の危険有害性 : 蚕、ミツバチに対して影響がある。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
- 化学名 : 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル 3-フェノキシベンジル エーテル混合物
- 別名 : エトフェンプロックス製剤

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
エトフェンプロックス	1.5	3-3981	4-(14)-178	80844-07-1
鉱物質微粉等	98.5			
結晶質シリカ(石英)	33	(1)-548	既存化学物質	14808-60-7
フタル酸ジイソデシル	12	(3)-1307	既存化学物質	26761-40-0
ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	0.4	(2)-1620,(2)-1623	2-(4)-384,2-(4)-692	577-11-7
酸化チタン	0.3	(1)-558,(5)-5225	既存化学物質	13463-67-7

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐこと。
皮膚は多量の水で洗浄する。
外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、医師の診断/手当てを受けること。

安全データシート

ハイカプシン[®]粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で数分間注意深く洗うこと。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄すること。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合には、医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、直ちに医師の診断／手当てを受けること。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
毛布等で保温して安静に保つこと。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は有害物質に触れないよう、適切な保護具を着用すること。
- 医師に対する特別な注意事項
その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、砂
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止すること。
危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに止めること。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移すこと。
容器、周囲の設備等に散水して冷却すること。
消火活動は、可能な限り風上から行うこと。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置
- 一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
- 非緊急対応者
- 保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 応急処置 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 緊急対応者
- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
漏出物との接触及び吸入を避けること。
- 応急処置 : 不要な職員を退避させる。

安全データシート

ハイカプシン[®]粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

- : 環境への放出を避けること。
- 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

- : 漏出したものをすくいとり、又は掃き集めてドラム等に回収すること。

浄化方法

- : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

二次災害の防止策

- : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
- 危険なくできる時は、漏出源を遮断し、漏れを止めること。

その他の情報

- : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- : 作業所の十分な換気を確保する。
- 屋内で取り扱う場合は、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。

安全取扱注意事項

- : 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。
- 取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。
- 部屋の排気および全般的な換気を確保する。
- 個人用保護具を着用する。
- 危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。
- 妊娠中／授乳期中は接触を避けること。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 容器を転倒、落下させ、衝撃を加える、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしないこと。

接触回避

- : 「10. 安定性及び反応性」記載の混触危険物質との接触及び保管を避けること。

衛生対策

- : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗うこと。手袋等の汚染された保護具を持ち込まないこと。

保管

安全な保管条件

- : 施錠して保管すること。
- 食品、飲料、動物用飼料とは区別して保管すること。

安全な容器包装材料

- : クラフト紙袋、クラフト加工紙袋。

技術的対策

- : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料

- : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

エトフェンプロックス (80844-07-1)

日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)

現地名

エトフェンプロックス # Etofenprox

許容濃度

3 mg/m³

規則参照

許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻

安全データシート

ハイカプシン[®]粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

結晶質シリカ(石英) (14808-60-7)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	結晶質シリカ
許容濃度	0.03 mg/m ³ (吸入性粉塵)
特記事項 (JP)	発がん性分類 1
規則参照	許容濃度等の勧告(2023 年度)産衛誌 65 巻
酸化チタン (13463-67-7)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	二酸化チタン # Titanium dioxide
許容濃度	2 mg/m ³ 総粉塵 1.5 mg/m ³ 吸入性粉塵 0.3 mg/m ³ ナノ粒子
特記事項 (JP)	発がん性分類 2B
規則参照	許容濃度等の勧告(2023 年度)産衛誌 65 巻

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する、屋内で取り扱う場合には、局所排気装置および/または全体換気装置を使用する。
取り扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具 : 保護マスク
手の保護具 : 化学防護手袋(不浸透性保護用手袋)
眼の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル、保護面
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する、安全帽子、化学防護服(不浸透性保護衣)、化学防護長靴等
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体
外観 : 細粒
色 : 褐色
臭い : データなし
pH : 7.7 (25°C)
融点 : データなし
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : データなし
蒸気圧 : データなし
相対密度 : 1.19 (見掛け比重)
密度 : データなし

安全データシート

ハイカプシン®粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: 粒径分布: 300 - 1700 μm

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません(第7節参照)。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 燃焼時、有害ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

ハイカプシン®粒剤	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg (雌)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
エトフェンブロックス	
LD50 経口 ラット	> 42880 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2140 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 5.9 mg/L/4h
結晶質シリカ(石英)	
急性毒性 (経口)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
フタル酸ジイソデシル	
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口	64000 mg/kg
LD50 経皮	> 2910 mg/kg

安全データシート

ハイカプシン®粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

フタル酸ジイソデシル	
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	12.54 mg/L/4h
ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
急性毒性 (経口)	ラット LD50 値 1.80, 3.08, 3.98, 4.3 g/kg (JECFA 723 (1991)), 約 2000, 4200 mg/kg (USEPA/HPV (2001)、List1 相当)と区分 4 相当が 2 例、区分外相当が 4 例のデータがあり、多くのデータがある区分外 (国連分類基準で区分 5)とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギ LD50 値 >10 g/kg (USEPA/HPV (2001))に基づき、区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口 ラット	2000 mg/kg
LD50 経口	3080 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 10000 mg/kg
LD50 経皮	10000 mg/kg
酸化チタン	
急性毒性 (経口)	本分類には酸化チタンの情報のうち、ナノ粒子と明記されたデータを除いた情報を用いて分類を行った。ラットの LD50 値として、> 2,000 mg/kg、> 5,000 mg/kg (SIDS (2015))、> 10,000 mg/kg (HSDB (Access on May 2016)、環境省リスク評価第 8 巻 (2010))、> 12,000 mg/kg、> 20,000 mg/kg (環境省リスク評価第 8 巻 (2010)) の報告に基づき、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	ハムスターの LD50 値として、> 10,000 mg/kg (HSDB (Access on May 2016)、環境省リスク評価第 8 巻 (2010)) の報告に基づき、区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラットの LC50 値として、> 5.09 mg/L (SIDS (2015)) の報告に基づき、区分外とした。
皮膚腐食性 / 刺激性	: 区分に該当しない ウサギ 軽度刺激性 紅斑 6 日後までに消失
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	: 区分に該当しない ウサギ 中等度刺激性 角膜混濁、結膜発赤 5 日後までに消失
呼吸器感作性	: 分類できない
エトフェンプロックス	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
結晶質シリカ (石英)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
フタル酸ジイソデシル	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

安全データシート

ハイカプシン[®]粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
呼吸器感作性	データなし。
酸化チタン	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: 区分に該当しない モルモット 陰性
生殖細胞変異原性	: 遺伝性疾患のおそれの疑い
エトフェンブロックス	
生殖細胞変異原性	Ames 試験 陰性、染色体異常試験 陰性、マウス小核試験 陰性
結晶質シリカ(石英)	
生殖細胞変異原性	In vivo では、気管内注入によるラット肺胞上皮細胞を用いた hprt 遺伝子突然変異試験で陽性、投与方法は不明であるが、マウス肺組織の hprt 遺伝子突然変異試験で陰性、腹腔内投与によるマウス小核試験で陰性、ばく露方法は不明ながら、ヒトリンパ球の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性、ラット肺、末梢血を用いた酸化 DNA 傷害試験で陽性又は陰性、ラット肺上皮細胞の DNA 切断試験で陽性である (SIDS (2013)、CICAD 24 (2000)、DFGOT vol. 14 (2000)、IARC 68 (1997))。In vitro では、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞の小核試験で陽性、陰性の結果、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である (SIDS (2013)、CICAD 24 (2000)、DFGOT vol. 14 (2000)、IARC 68 (1997))。以上より、ガイダンスに従い、区分 2 とした。なお、本物質の遺伝毒性は、当該物質からの、あるいは当該物質による炎症細胞からの活性酸素種に起因すると考えられる (SIDS (2013)、IARC 100C (2012))。
フタル酸ジイソデシル	
生殖細胞変異原性	区分に該当しない。
ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
生殖細胞変異原性	Ames 陰性、サルモネラ菌 陰性
酸化チタン	
生殖細胞変異原性	データ不足で分類できない。
発がん性	: 発がんのおそれ
エトフェンブロックス	
発がん性	ラット、マウス 発がん性試験 陰性
結晶質シリカ(石英)	
発がん性	ヒト及び実験動物での発がん性情報より、IARC は本物質粉じんばく露によるヒト発がん性に対し、「グループ 1」に分類し、他の国際機関による発がん性分類結果としては、日本産業衛生学会が「第 1 群」に (産衛学会勧告 (2015))、ACGIH が 2004 年以降「A2」に (ACGIH (7th, 2006))、NTP が結晶質シリカ (吸入性粒子径) に対して、「K」に分類している (NTP RoC (13th, 2014))。よって、本項は区分 1A とした。
フタル酸ジイソデシル	
発がん性	データ不足のため分類できない。

安全データシート

ハイカプシン[®]粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
発がん性	in vivo 陰性
酸化チタン	
発がん性	区分 2
生殖毒性	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
エトフェンプロックス	
生殖毒性	ラット、ウサギ 生殖毒性試験 陰性
結晶質シリカ(石英)	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
フタル酸ジイソデシル	
生殖毒性	区分 2
ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
生殖毒性	生殖毒性 [区分 2] 追加区分 [授乳影響]
酸化チタン	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 臓器の障害(呼吸器系)
結晶質シリカ(石英)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
フタル酸ジイソデシル	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足で分類できない。
ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットの急性経口ばく露試験(用量: 2820, 3560, 4480, 5040 mg/kg)で、3560 mg/kg 以上の投与群で死亡が見られ、死亡例のほとんどは、ばく露後 6-24 時間以内で見られた。毒性症状として平伏状態や嗜眠が認められ、死亡動物では消化管内に黄色の液体が観察されたが、生存動物の解剖では可視的な障害は見られなかったとの記述(USEPA/HPV(2001))がある。しかし上記の試験は、区分 2 のガイダンス値の上限を超えた高い用量で行なわれており、ガイダンス値内での投与量における影響が不明であることからデータ不足で「分類できない」とした。
酸化チタン	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(免疫系, 呼吸器系, 腎臓)

安全データシート

ハイカプシン®粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

結晶質シリカ(石英)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおいて、多くの疫学研究において、本物質の職業ばく露と呼吸器への影響(珪肺症、肺がん、肺結核)が確認されている。このほか、自己免疫疾患(強皮症、関節リウマチ、多発性関節炎、混合結合組織疾患、全身性紅斑性狼瘡、シェーグレン症候群、多発性筋炎、結合織炎)、慢性腎疾患及び無症状性の腎変性もみられている(SIDS (2013)、CICAD 24 (2000)、DFGOT vol. 14 (2000))。この腎臓の疾患は自己免疫が関連していると考えられている(SIDS (2013))。実験動物においても、ラットを用いた反復吸入ばく露試験により肺の線維化が確認されている(SIDS (2013))。したがって、区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)とした。
フタル酸ジイソデシル	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足で分類できない。
ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの90日間混餌投与試験(1%混餌(換算値: 500 mg/kg/day))で、死亡や異常行動はみられず、体重増加、摂餌量、血液学的検査、尿検査、病理学的検査においても、投与に関連した影響は見られなかったとの記述(USEPA HPV(2001))から、経口ばく露では区分外に相当するが、他の経路(吸入、経皮)の毒性影響のデータがなく、データがなく分類できないとした。
酸化チタン	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器)
誤えん有害性	: 分類できない
エトフェプロックス	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない
結晶質シリカ(石英)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
フタル酸ジイソデシル	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	
誤えん有害性	データなし。
酸化チタン	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

- 水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に非常に強い毒性
甲殻類の急性データに基づき区分1とした。
- 水生環境有害性 長期(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
急性区分1であり、急速分解性が不明であることから区分1とした。

ハイカプシン®粒剤

LC50 - 魚 [1] 420 mg/L コイ

安全データシート

ハイカプシン®粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ハイカプシン®粒剤	
EC50 - 甲殻類 [1]	0.0524 mg/L ミジンコ
ErC50 藻類	> 1000 mg/L 緑藻

残留性・分解性

ハイカプシン®粒剤	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

ハイカプシン®粒剤	
生体蓄積性	データなし

土壤中の移動性

ハイカプシン®粒剤	
土壤中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報推奨製品/梱包処分

: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。

管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

残余廃棄物

: 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理すること。

廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。

汚染容器及び包装

: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。

地域の廃棄規則

: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理

: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報

: 空の容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 3077

正式品名(UN RTDG) : 環境有害物質(固体)(エトフェンブロックス混合物)

容器等級(UN RTDG) : III

輸送危険物分類(UN RTDG) : 9

危険物ラベル(UN RTDG) : 9

安全データシート

ハイカプシン[®]粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠



クラス (UN RTDG)	: 9
少量危険物 (UN RTDG)	: 5 kg
微量危険物 (UN RTDG)	: E1
包装指令 (UN RTDG)	: P002、IBC08、LP02
特別包装規定 (UN RTDG)	: PP12、B3
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/要件 (UN RTDG)	: T1、BK2、BK3
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/特別要件 (UN RTDG)	: TP33

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
非該当

国内規制

海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	: 171
その他の情報	: 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9) 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル 結晶質シリカ 【改正後 令和8年4月1日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2) フタル酸ジイソデシル 危険物・引火性の物 (施行令別表第1第4号) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9) 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル (政令番号: 86) 結晶質シリカ (政令番号: 165 の 2) 酸化チタン (IV) (政令番号: 191) 【改正後 令和8年4月1日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2) ナトリウム=1, 4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1, 4-ジオキソブタン-2-スルホナート フタル酸ジイソデシル がん原性物質 (安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和
---------	--

安全データシート

ハイカプシン®粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

	4年12月26日基発1226第4号)
	結晶質シリカ
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非危険物
船舶安全法	: 有害性物質(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	: その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル(別 名エトフェンブロックス)(管理番号: 64)(1.5%)
じん肺法	: 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業 シリカ 酸化チタン

16. その他の情報

ハイカプシンは三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社の登録商標です。

免責条項 当該シートに記載されている情報は現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意して下さい。含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性等の記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

また、製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いかねます。

なお、当該シートは本製品にのみ適用され、本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがありますので、ご注意の上、お取り扱い願います。